

骨髓バンク 2003年2月 会報22号

日本骨髓バンク骨髓提供希望者(ドナー)登録者数:164,282人(県内2,612人)
骨髓移植希望者(患者数):2,005人(県内48人)
バンクを通じての移植例数:4,575例(県内移植数76例、県内採取数68例)
(2002年12月末現在)

新年のごあいさつ

会長 牛島英二

会員の皆さん、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は年間20回に及ぶ県内登録会開催に大変なご尽力、ご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。お蔭様で合計260名を超える方々に登録していただくことができ、全国で移植を待つ患者さんの心に希望の光を灯してあげられたことと思います。

「一人でも多く、一刻も早く患者さんの命を救うために」を活動の理念とし、「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」を会のモットーとして、今年も草の根活動を一步ずつ着実に進めて参る所存です。

平成15年度も今年度並みの登録会計画が県業務課で立案されることになるものと思われます。同計画を確実に実施するためには今年度と同様、会員の皆さんのお力添え、ご努力が不可欠です。財団の地区普及広報委員や説明員とは言え、私達ボランティア団体の力に頼る現行の登録会システムには大いに疑問と不満を抱かざるを得ませんが、一方では待った無しの状況に置かれた患者さんが全国に多数いらっしゃるのも現実であり、私達の努力が患者さんの利益に直結することを思えば、全ての登録会が行政や日赤のみで実施されるようになるまで(いつの日になるか全くわかりませんが)こうした努力を歯を食いしばってでも続けていかねばなりません。

こうした活動は既にボランティアの領域をはるかに越えているとの見方もありますが、骨髓バンク事業が献血事業と同程度まで社会的に認知されるまで私達ボランティア団体の活動ぶりを広く一般社会に見ていただき、その重要性を訴えつづけていかねばならないと考えます。皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

<< 登録会結果及び今後の予定 >>

(結果)

12月26日(木) 茨城県庁登録会	登録者数: 33名 参加者: 山崎(揚)、牛島、山崎(晃)、伊井、鈴木、川井、宮内、佐藤(恵)
1月7日(火) 高萩市役所登録会	登録者数: 15名 参加者: 中津川、山崎(揚)、川井、佐藤(恵)、細谷(栄)、細谷(み)
1月29日(水) 猿島町役場登録会	登録者数: 7名 参加者: 鈴木、萩原、佐藤(恵)、細谷(栄)、細谷(み)
2月5日(水) 友部町役場登録会	登録者数: 18名 参加者: 山崎(揚)、山崎(晃)、川井

(今後の予定)

2月10日(月) 説明員研修会(くるみ屋)
2月11日(火) イエローシート還元商品贈呈式及びPR活動(日立ポンペルタ伊勢基)
2月12日(水) 守谷市役所登録会
2月18日(火) 石岡市役所登録会
2月27日(木) 那珂町中央公民館登録会
3月13日(木) 産業技術総合研究所登録会(つくば市)
3月24日(月) 玉造町役場登録会
3月27日(水) 関城町役場登録会
3月27日(水) 波崎町役場登録会

ドナー登録者30万人をめざして!

県立こども病院へのX'masプレゼント

今年もまたまたやりました。ペンシルバルーンプレゼント！

12月12日(木)、こども病院にクリスマスプレゼントを届けに行ってきました。

今年で2回目になります。参加者は伊井さん、萩原さん、山崎(揚久)、山崎(晃子)そして、いばらきの会への初参加となる、和田さん親子です。

私はクリスマスへの参加が今回初めてですので、楽しみにしていました。プレゼントの中身は、ペンシルバルーンのセットです。サンタ、レディースサンタ、トナカイの格好をして、病室に入っていくと、来ることを知らされていない子供たちはとても驚いた様子でした。(中には泣き出す子もいましたが・・・)

プレゼントを渡しながらか、一緒にペンシルバルーンを作り手渡すと、喜んでくれました。バルーンが出来るまでワクワクしながら待っている子供たちに、こちらも張り切ってしまう。小さいのに病院という空間に身をおく子供達の姿に、胸を締め付けられる思いがしました。その子供達に少しでも楽しい時を感じてもらえたら何より嬉しいです。

このクリスマスのイベントは、また来年も是非参加したいし、続けて行きたいと思うものでした。

(山崎晃子)



参加した6人です。今回からトナカイがお目見え



婦長さんと打ち合わせ



トンボさん ありがとう

ドナー登録者30万人をめざして！

11/26 下館市役所登録会報告

11月26日(火)に下館市役所にて、ドナー登録会が実施されました。天気は快晴でしたが、さすがに11月、ちょっと寒いかなと思える中、下館保健所(3名)、市保健センター、下館市ライオンズクラブ、いばらきの会から、山崎(揚)さん、萩原さん、鈴木で登録会を実施いたしました。

事前申し込みが、ゼロとかなり不安でしたが、登録者は9名でした(献血受付者50名)。今回は、期待していたほど献血数も伸びず、市部なのに二桁に及ばなくて残念でした。ご協力くださいました方々、ありがとうございました。(鈴木秀文)

12/3 石下町登録会報告

12月3日(火)石下町で献血並行型ドナー登録会が行われました。会場は空にそびえる豊田城の間近、総合福祉センターという建物で、場所的にも町民の方の出入りがほとんどない、非常に不利な状況下での登録会でした。

しかしながら、なんとなんと午前4名、午後11名の合計15名登録(献血者54名)という素晴らしい結果で無事終了いたしました。これもひとえに「ささやき作戦」の元祖、水海道保健所の武井さんや仁瓶さん、それにライオンズクラブの方々が終日頑張って声掛けをして下さったことが、好結果の要因であったと感じています。

他にも石下町役場保健課の秋葉さんが、自作の案内はがき(カラー版)を過去の献血者約120名の方に出していただき、実際その案内はがきで登録にいらした方もいました。ありがたい限りです。いばらきの会からの参加者は牛島さん、山崎(揚)さん、萩原さん、伊井でした。

なお、薬務課で購入していただいた全国協議会ののぼり旗が初お目見えでした。(伊井義人)



12/26 茨城県庁登録会報告 (県内新記録達成!!)

年末押し迫る12月26日(木)、茨城県庁敷地内にある福利厚生等において献血並行登録会が開催されました。極寒の北風が強い早朝7時から県薬務課約10名、保健所2名、いばらきの会5名で県庁や県警本部へ出勤される方々へチラシを配布しながら登録呼びかけを口にするも、寒さの為、口が思うように動いてくれない様子。皆さん寒中に出勤前9時近くまで約3000枚のチラシを配布してくれて本当に感謝です!

その後、県庁2階県民ホールなどに数名でのチラシ配布を行いながら登録会場設営準備。9時30分から登録会を開き、早速登録者が…途切れない程度で登録数が伸び続け、当日は献血バス2台のため昼休憩なしでの登録と少々ヘビーでしたがいつの間にか32名の登録数! もう1名の登録で県内新記録!と喜んでいたのですがあいにくキャンセル。でもここで今まで悩んでいた水戸保健所の相楽さんが意を決したように登録して頂け県内新記録の33名で終了できました。ちなみに献血者は157名。



大盛況の説明会場

いばらきの会で参加された方々は牛島、伊井、鈴木、川井、宮内、佐藤恵子、山崎晃子、山崎揚久でした。県薬務課、水戸保健所、血液センターの方々、いばらきの会の方々、本当に寒空の中、33名の登録者があったことは皆様方の協力で成し得た結果です。本当にご協力ありがとうございました。(山崎揚久)

ドナー登録者30万人をめざして!

1/7 高萩市役所登録会報告

さる1月7日(火)高萩市役所において、献血並行型の登録会が行われました。献血は、62名受付のところ46名の献血者、ドナー登録は28名受付の28名登録という結果でした。なんと骨髄バンク登録者の献血者数に占める割合が60.9%という驚異的な結果でもありました。この要因として、市保健センターの担当者が、非常に協力的で、献血にこられた方にドナー登録も呼びかけてくださったことがあげられます。担当者によってこれほどの結果が出せたということに対し、非常に頭の下がる思いでいっぱいです。

なお当日参加された方は、いばらきの会より山崎(揚)さん、佐藤恵子さん、川井さん、細谷夫妻、中津川と高萩市保健センターの渡辺さん、日立保健所の今川さん、小塚さんの計9名でした。参加された皆さん、大変ご苦労様でした。私事ですが、この日は私の誕生日で、良い誕生日プレゼントと思っております。

(中津川智彦)

1/29 猿島町役場登録会報告

1月29日(水)の猿島町役場登録会は、大変寒い中でしたが、参加者は鈴木さん、細谷夫妻、佐藤恵子さん、萩原で、結果は登録者7名(献血者50名内採血者34名)でした。

新しい会員の方達も参加して下さい、例のささやき作戦を細谷夫妻、佐藤さんにも頑張ってもらいました。細谷さんのご主人は、今までも登録会は参加されていましたが、今回初めて、ドナー登録しているところを目の前で見て、とても感激していました。説明員の資格も取って頂いて、素晴らしい感動を、もっと大きくしてもらえたらいいですね……私自身もいろいろな感動をもらった一日でした。(萩原千春)

2/5 友部町役場登録会報告

平成15年2月5日(水)友部町役場にて献血並行型登録会が開催されました。

小雪舞う寒空の中、朝8時からの登庁される職員へチラシ配布を行い、9時30分から登録会の受付開始。始まりを待っていたかのように早速、最初の登録者が登録をしていただき、それほど忙しくはないものの、ぼちぼち登録者が増え始め結局23名受付、18名の方に登録していただきました。不適格者の5名は、寒かったせいか血压の高い方が多く、ある方は午前問診で血压が高く、それでも午後からの再問診(計3回)に来ていただきましたがだめでした。ここまでして登録したい気持ちの方もいるのだと感動し、悔しい思いです。

友部町は川井さんの地元ということもあり、来る方ほとんど知り合いのようで、18名の登録は川井さんも嬉しかったようです。献血される方は50歳以上の方も多く70名の献血受付の割には登録数が多かったように感じました。

参加者は水戸保健所から相楽係長、郡司係長、いばらきの会から川井正一さん、山崎揚久、晃子でした。(山崎揚久)

新会員 紹介コーナー

最近、いばらきの会に新規会員が増えてきています。うれし~い。そこで新企画「新会員紹介コーナー」として、新会員の方のコメントをご紹介します。このコーナーが長続きしますように……

まずは、波崎町にお住まいの宮内麻理子さんからです。

『初めまして~波崎町の宮内麻理子と申します。仕事は千葉県の教員をしまして、現在育児休暇中です。それを良いことに(笑)今までやりたくてもできなかった平日のボランティアに少しずつ参加していきたいと考えています。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、宜しくお願いします。』

とっても明るい方です。皆さんよろしくね。

ドナー登録者30万人をめざして!

寄付金の贈呈

(株)金馬車からの寄付金贈呈式

平成14年12月10日(火)茨城県庁5階第一応接にて、パチンコでおなじみの株式会社金馬車から社会貢献の一環としてボランティア10団体、総額450万円にのぼる寄付金贈呈式があり、「骨髄バンクを支援するいばらきの会」には30万円の寄付をいただきました。

昨年は、茨城県薬務課からの推薦により茨城新聞社からのご寄付(20万円)をいただきましたが、今年も薬務課からの推薦によるものです。牛島会長は所用により出席できなかったため、代理で山崎事務局長と会計山崎晃子が出席いたしました。

目前の団体代表には橋本知事の出席もあったり、また、寄付贈呈や謝辞ではかなり緊張し、私では場違いではないかと思いました。

寄付金は骨髄バンクの普及啓発に使わせて頂きます。(株)金馬車および薬務課の皆さまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(山崎揚久)



贈呈をうける山崎事務局長

伊勢甚労働組合からの寄付

平成14年12月18日骨髄バンクを支援するいばらきの会事務局(旭村くるみ屋)において、伊勢甚労働組合から10万円の寄贈がありました。伊勢甚30周年記念の一環としての活動です。



このご寄付をいただいた経緯ですが、伊勢甚日立店店長や茨城県議会議員井手義弘様からの推薦がございました。

寄付金は骨髄バンクの普及啓発や患者支援に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

(山崎揚久)

イオングループ労働組合連合会中央書記長武田宏司様(右)と山崎事務局長

ドナー登録者30万人をめざして！

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。

活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義: 00110-3-127575

加入者名義: 骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局より

事務局から御協力をお願い!

これから3月末まで、合計7回の登録会が予定されており、いよいよ今年度のラストスパートとなりました。

登録会当日の説明員ならびにチラシ配布などの要員をそれぞれ確保する必要があります。特に3月後半は週3回、同日2ヶ所開催など大変厳しい状況です。

開催日は全て平日のため、本業をお持ちの方は個人休暇をお取りいただくなどが必要となりますが、それぞれの登録会を有意義なものとするためには会員の皆さんのお力添えが不可欠です。また終日のご参加が無理でも午前・午後いずれか半日のご参加でも結構ですので、ぜひぜひ皆さんのご参加・ご協力をよろしくお願いいたします。

お住まいのお近くの会場への参加をご希望される方は、事務局までご連絡をお願いいたします。

また、皆様方のお住まいになっている各市町村や企業などでのイベントがありましたらお知らせください。骨髄バンクのPRに役立てたいと考えております。ご協力お願い致します。

年度年会費納入のお願い!

皆様からの会費は大切な運動資金です。有効に活用致します。また善意のご寄付もよろしくお願い申し上げます。 年会費 一口 2,000円 何口でも

会費納入とご寄付をありがとうございました

(2002年12月1日～2003年1月31日現在) (順不同、敬称は略させていただきます。)

寄付: 和田和美6,000円、堤典子3,000円、増田尚子1,000円、
牛島英二30,000円、西田則子5,000円、富田光穂5,000円

会費: 和田和美2,000円

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

会報発行: 骨髄バンクを支援するいばらきの会 <http://www.marow.or.jp/ibaraki>

発行責任者: 牛島英二 編集: 伊井義人・山崎揚久

<事務局> 〒311-1415 茨城県鹿島郡旭村造谷605くるみ屋内

TEL: 090-8306-7111/FAX: 0291-37-1425/E-mail: yamazaki@kurumiya.com

特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会

骨髄バンクのお問い合わせは 0120-892-106、office@marow.or.jp、<http://www.marow.or.jp> まで

患者電話相談 白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

毎週土曜日 10:00～16:00 *毎月第2・第4土曜日は血液専門医もご相談をうかがいます

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで

ドナー登録者30万人をめざして!